



北海道自転車競技連盟 国民体育大会出場者選抜基準要項

令和4年5月23日

強化委員会委員長 堀江 洋一郎

強化委員会委員長代行 假谷 豊

強化委員会副委員長 藪下 昌也

記

資格

北海道自転車競技連盟に加盟しているか大学生自転車連盟及び高校生自転車競技連並びに JBCF に加盟していなければならない。その他のものは JCF ライセンス保持が目安となる。

ふるさと制度を使用して参加するものはその基準を満たしていなければならない。

その他の国民体育大会出場基準をも満たさなければならない。

エントリー仕分

- ① トラック競技
- ② ロード競技
- ③ トラック、ロード両方

選抜基準概要

①のトラック競技参加の国体選考レース後に決定されるがあくまでも選考レース前1年間の他のレース結果等を考慮しての選考の最終レースと位置付ける。

基準は選考レースの基準タイム及び順位、そして過去1年間の成績が加味され総合的に選考される。

* 基準タイム、基準順位はその年により決定される。

① 上記でも述べているように国体選考レースに基準タイム規定順位をクリアーしても出場権を得られるのではなく選考対象者としての選考条件最上位獲得選手として扱われるだけで当該出場選手は後の選考委員会で決定される。

国体選考基準タイム

男子種目	距離	成年タイム	少年タイム
スプリント		上位6位	上位6位
1kタイムトライアル	1km	1分11秒以内	1分13秒以内
パーシュート	3km	4分8秒以内	4分10秒以内
女子種目	選考なし		

②のロード競技は北海道選手権及び地域別ロードの両成績で選考されるが選手権と地域別が同レースだった場合は他の道車連主催のレースを別途指定する。

③の両レース参加はまず①の選考を獲得してロードレース枠に空きがあれば参加可能とする。その場合②選考は必要ないが両レースとも出場を希望する場合は②も必要。

トラック種目別

原則選考選手の希望する種目とするが種目により人数制限があるので車連からの指定種目となる場合がある。



-
- * 団体競技を車連より指定された場合特段の理由・事情がない限り拒むことはできない。

その他

- * ふるさと制度で出場を希望する選手は手続き上の協力をもって臨まなければならない。遠隔地に居住していても原則選考レースに出場しなければ選考権を得られない。ただし仕事等では理由と認めないがチーム事情や学業の都合により選考レース出場が困難な場合は理由書及びそれまでの過去1年の公式レースの結果等の提出により理事長並びに強化委員会の協議により選考対象選手と認める場合がある。
 - * 国民体育大会出場に参加にあたり開催場所、その他の事情により諸条件が付加される場合や変更される場合があります。毎年変わる部分が予想されるので注視して下さい。
-